



# れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2012年3月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

## 富山市民病院開放型病床 診療部長に就任して

地域医療部主任部長 清川 裕明  
開放型病床診療部長



このたび平成24年1月より富山市民病院開放型病床の診療部長をさせていただくことになりました。この富山市民病院開放型病床委員会は、市医師会の先生方と市民病院の開放型病床の現状と問題点に関して検討する会です。

登録医数は5つの医師会から平成24年3月で191名にのぼり、毎月20名以上の先生方に利用していただいております。当院の開放型病床は平成7年10月より20床にて設立され、平成8年から30床になっています。平成22年度の開放型病床利用患者数は400名で、病床利用率は68%でした。今年度は、2月で422名の利用があり、利用率も96%となっています。同時期より地域連携開放型病床症例検討会も開催し、毎月第2火曜日に、ご紹介いただいた患者さんの症例検討とミニレクチャーを行っております。昨年度は年間のべ168名の先生方に参加していただきました。さらに多くの先生方に利用していただくためには、主治医の先生方と病院担当医とカンファレンスなどを通じた「顔の見える関係」の強化が必要と

考えられますが日常診療の多忙さもあり、なかなかうまくいかない面も指摘されています。情報の共有化がその打開策になると考え、平成18年7月より「たてやま医療連携ネット」を運用してきました。現在市民病院と35近隣クリニックとをオンデマンドVPNネットワークで結び、診療・検査予約、紹介状・返書の送受信のほか、要望の多いカルテ・レポート・画像情報の閲覧もできるようになっていますが、個人情報保護の面から指紋認証登録をお願いしておりました。今後は利便性を考え、3ヶ月間の期限付きですが、IDおよびパスワードでもカルテなどの閲覧ができるように変更する予定です。

これからの医療のキーワードである「在宅医療」の推進のためには、急変時の患者受け入れ体制の充実が重要と思われます。そのためには開放型症例検討会や開放型病床を通じ、相談しやすい、たのみやすい関係づくりが大切と考えておりますので、今後ともご支援のほどをよろしくお願いいたします。

## Contents

富山市民病院開放型病床 診療部長に就任して.....	1
研修・講演・勉強会のご案内.....	2.3
3月の地域連携・開放型病床 症例検討会報告.....	3
地域連携・開放型病床講演会・ 懇親会を開催いたしました.....	4.5
診療所・病院・施設訪問.....	6
研修医のひとりごと.....	7
地域医療支援病院委員会を 開催いたしました.....	7
医師不在のお知らせ.....	7
病棟、手術室、HCU・ICUの紹介.....	8
編集後記.....	8

1 . 地域連携・開放型病床症例検討会



4月

日時：4月10日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：

「急性心筋梗塞の治療～心臓リハビリテーションを中心に」

循環器内科 清川 裕明

冠動脈インターベンション(PCI)が急性心筋梗塞の治療の主流になり、薬剤溶出ステントにより再狭窄の問題も克服されつつあります。

当院でも2年前から心臓リハビリテーションの施設認定Iをとり、専従/専任のスタッフ(理学療法士、看護師)のもと、急性期ベット上の段階から積極的

に心臓リハビリに取り組んできました。2~3週間の入院中は心肺負荷試験(CPX)をおこない残存心筋に負担のかからない負荷を設定し、退院後も外来心臓リハビリをすすめています。

実例を通し最新のインターベンション治療とその後の心臓リハビリの現状をご紹介します。

症例検討

1)「骨盤内腫瘍で紹介された重複癌の1例」

(紹介医) おおやま病院 五十嵐 典士先生 産婦人科 大田 悟

2)「非典型的な経過をとった川崎病の2症例」

(紹介医) すざき子ども医院 洲崎 健先生 小児科 橋本 郁夫

5月

日時：5月8日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「ペインクリニックにおける最近の帯状疱疹後神経痛の加療」

麻酔科 中西 拓郎

2 . 院内医療機器研修会



日時：4月20日(金) 17:45~18:15

場所：集団指導室

テーマ 院内設備と酸素ボンベの取扱いについて

講師 院内臨床工学士

3 . 乳腺エコー学習会  
(術後症例検討)



日時：4月17日(火) 16:00~

場所：病理検査室

対象 医師、臨床検査技師、放射線技師、他

\*前月手術された症例をエコー中心に検討します。

\*日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。

4 . 看護研修



《新任看護職員研修》 場所：講堂

日時：4月5日(木) 13:00~17:00

テーマ 感染防止の技術

日時：4月12日(木) 14:00~15:30

テーマ 排泄援助技術

日時：4月20日(金) 8:30~17:15

テーマ 与薬援助技術

(経口薬の投与、麻薬製剤について、静脈注射、皮下注射、中心静脈注射、誤薬防止の手順など)

日時：4月23日(月) 14:00~15:30

テーマ 食事援助技術

日時：4月25日(水) 14:00~15:30

場所：講堂

テーマ 活動・休息援助技術

《衛星研修S - QUE Eナース》

日時：4月4日(水) 17：40～18：50

場所：講堂

テーマ 基礎から学ぶ酸素療法 **基礎**

日時：4月18日(水) 17：40～18：50

場所：講堂

テーマ 人工呼吸器療法 実践編 **応用**

《衛星研修S - 新医療看護連携》

日時：4月25日(水) 17：40～19：00

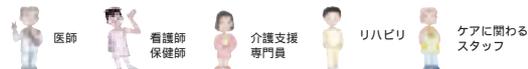
場所：講堂

テーマ Vol.19 チーム医療・地域連携  
「がん緩和ケアと在宅医療の充実」



病院ボランティア 篠崎 佳子

研修の横に対象となる職種マークをつけました。お気軽にお越し下さい。



(5月よりの定例学習会)

糖尿病研究会定例学習会	毎月第1木曜日	17：30～18：30
緩和医療委員会学習会	毎月第2火曜日	18：00～19：00
NST学習会	毎月第4月曜日	18：00～19：00
褥瘡対策学習会	毎月第4金曜日	17：45～

(不定期に開催の予定)

感染予防対策学習会 (担当) ICT (感染対策チーム)	次回予定 平成24年5月	17：30～19：00
富山市民病院学習会 (担当) 腎不全看護認定看護師 腎不全看護エキスパートナース	随時お知らせいたします	17：45～

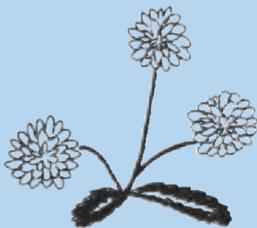


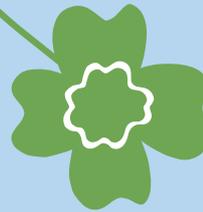
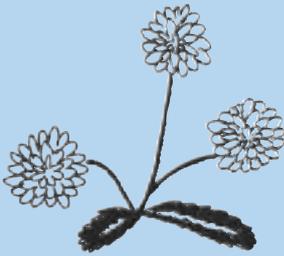
平成23年度 富山市民病院  
地域連携・開放型病床講演会・懇親会を開催いたしました。

今年度の「富山市民病院 地域連携・開放型病床講演会・懇親会」を下記のとおり行いました。第1部は、がん地域連携パスについて当院外科 野島 直巳医師より当院の取り組み状況や今後の展望などについての講演がありました。

第2部は、地域の先生方と当院の医師、看護師、コメディカルとの懇親会でした。今年度は、例年以上の参加があり、先生方との語らいで楽しいひと時を過ごしました。

日 時：平成24年3月9日（金）19時30分～  
場 所：ANAクラウンプラザホテル  
第一部：講演会  
演 題 「がん地域連携パスについて」  
演 者 富山市民病院 外科医長 野島 直巳 医師  
第二部：懇親会





## 《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 84 里村クリニック

今回は「里村クリニック」を訪問させていただきました。

名称	里村クリニック
住所	富山県富山市稲荷元町2-1-12
医師	里村 敬 先生
標榜科	内科・麻酔科・リハビリテーション科
診察日・時間	月・火・水・木・金・土曜日の午前 9:00～13:00 月・火・水・金曜日の午後 14:30～18:15 木・土曜午後、日曜・祝祭日 休診
施設区分	無床診療所

### 訪問記



里村クリニック前景



里村院長先生



里村先生とスタッフの皆さん

季節外れの雪がちらつく3月12日、午前の診療を終えられたばかりの富山市稲荷元町の里村クリニックへ訪問させていただきました。院長の里村 敬先生は富山市のご出身で富山大学附属病院、県立中央病院を経て昭和63年に開業されました。内科、麻酔科、リハビリテーション科を標榜しておられ、「地域に根ざした医療を行っていくこと」をモットーに、現在訪問診療を行っている在宅療養中の患者さんは60名ほどで、中にはレスピレーターを装着されている方も数名おられるとお伺いしました。稲荷元町の踏み切り近くで住宅が密集しているこの場所で地域密着型医療をされています。

里村先生に地域医療への思いなどについてお伺いすると先生はとても優しい表情で丁寧にお話くださり「この地域は一人暮らしをしている方、特に女性の方が多く、不安を持ちながら生活しておられる方がたくさんいらっしゃいます。また皆さん訪問診療を待っておられて、伺うだけで体が楽になるということがあるようです。患者さんと話すことは好きでついつい時間が長引いてしまいます。訪問診療と同時に訪問看護の充実がされればいいのですが...」とお話になり、その穏やかな口調の中に地域医療に対する熱心な思いが伝わってきました。

先生には当院の開放型病床へのご登録をさせていただいておりますが、当院との連携についてのご要望をお聞きしたところ「在宅療養中の方が多く、急な診療の依頼についての対応をお願いしたい。状態が落ち着けばまた紹介していただければと思います。」とのことでした。

クリニックのスタッフは先生を含め6名、クリニック全体がアットホームな温かい雰囲気になっています。仕事が趣味ともいえるほど診療に関わっている時間が長いとおっしゃる先生に笑顔で見送っていただき、病院への帰路につきました。

# 研修医の ひとりごと

研修医 大島 健史



はじめまして。研修医二年目の大島健史と申します。去年の10月より富山市民病院整形外科にて研修しております。

市民病院整形外科は手術件数が多く、朝から夜まで立ちっぱなしという日も少なくありません。最初は何かと大変でしたが、半年経った今ではある程度余裕が出てきて、普段の仕事に加えて臨床研究も始めようとしているところです。徐々に出来ることも増えてきており、自分で言うのもなんですが、日々成長できているなあと実感しております。今後も怠らず、たくさんの方の事を吸収していきたいと思っております。



3月いっぱい研修医生活も終わりです。振り返ってみると充実した2年間でした。4月からは晴れて整形外科医として働くこととなります。早く一人前といわれるように頑張ります！

## 地域医療支援病院委員会を開催いたしました

地域医療支援病院委員会は、当院が地域の医療機関からの要請に適切に対応し、地域医療の確保に必要な支援を行うことを目的に運営しております。

去る2月22日に、本年度4回目の委員会を開催いたしました。会議では、事務局より今年度の紹介数・逆紹介数、療養相談件数、月別研修参加人数などの業務実績、富山市・医師会急患センター開設を受けての放射線及び検査件数について報告いたしました。また、会議終了後、最新鋭のCT機の見学を行いました。委員の方から多くのご意見をいただき、地域医療の発展に向けた対策について理解を深めました。



## 医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

3月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	20日	石浦	外科・乳腺外科	26日	泉
	19日・20日	清水	脳外科	25日・27日	宮森
形成外科	11日・12日・13日	置塩		6日・26日・27日	山野
泌尿器	23日・24日	元井	整形外科・関節再建外科	6日・20日	澤口
呼吸器・血管外科	19日	関		2日・3日・20日	重本
放射線科	13日	杉原	歯科	3日・4日・5日	高橋

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。



## 病棟、手術室、HCU・ICU

## の紹介



### 今月は 西病棟3階

西病棟3階は産科、新生児科、婦人科病棟で、主にお産前後の妊産婦さんや婦人科疾患の患者さんが入院していらっしゃいます。スタッフは産婦人科医師4名と助産師10名、看護師14名です。

産科では、妊娠中安心してマタニティライフを過ごし、よりよいお産をして頂けるよう、パパママご夫婦で参加できるマタニティクラスを2回シリーズで開催しています。2回目のクラスでは出産のDVDを観て実際に「お産」をイメージして頂くことで、当日も心の余裕を持って前向きにお産してもらえるようにしています。特に夫立ち会い分娩を希望されるご夫婦にはご主人の分娩準備クラス（2回目のクラス）参加またはDVD鑑賞を必須とし、夫婦でお産に臨むという意識を高めて頂けるよう関わっています。

外来では、通院される妊婦さんを対象に、毎日病棟助産師が妊娠各期における保健指導を行い、毎週金曜日の午後からは予約制のハッピーママ外来（助産外来）を行っています。これらは外来と病棟間の切れ目ない連携を保ち、助産師として妊娠期間中継続的に関わることで、妊産婦さんとその家族に対し質の高い母子ケアと安心・安全な出産を提供することを目的として実施しています。また、パースプランをもとに、ひとりひとりの関わりを大切に、満足いく自分らしいお産ができるよう援助しています。

お産のための入院は5～8日と短期間ですが、ママと赤ちゃんに合った効果的な授乳方法や基本的な育児技術を習得して頂くために、助産師と看護師が連携して支援を行っています。

退院後の支援としては、毎週水曜日の「相談コーナー」（予約制）において、母乳栄養状態や赤ちゃんや産後のママの体の状態、育児全般にわたる相談等に対してアドバイスを行っています。

婦人科では疾患の部位が生殖器であるがゆえに、受診が遅れたり周囲の人に相談しづらかったという方も少なくありません。このような患者さんの背景から心理状況を十分に把握し、信頼関係を基盤としたコミュニケーションに努めています。これから女性のライフサイクル全般にわたり個々に合わせた適切な援助を行い、満足できる入院生活が送れるよう関わっていきたいと思います。



## 編集後記

今年は例年に比べ積雪量が多く、除雪が大変だったことと思います。3月に入り暖かな日差しのおかげでほとんどの雪が消えてなくなり、季節はいつのまにか春、桜の蕾も少しずつ膨んできました。開花が待ち遠しい今日この頃です。

今月、当院では“さくらさくら10”と題し、県内外の“桜のある風景”の写真展が開催されています。桜の種類によって花びらの色は様々ですが、その花は一つ一つが違った表情をしていてどれも美しく、生き生きとした写真におもわず足を止め見入ってしまうほどです。病院の何気ない通路でその写真を見るたび気持ちが大変癒されています。

今年度も広報誌“れんけいと支援”を多くの方々にご協力をいただいたおかげで滞ることなく発行することができました。ありがとうございました。来年度も“れんけいと支援”は富山市民病院の旬な情報をお届けし、地域の医療機関や施設のみなさんと少しでも絆を結ぶことができたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

ふれあい地域医療センター 石崎 華代



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>  
がん・なんでも相談室：メールアドレス [shien@tch.toyama.toyama.jp](mailto:shien@tch.toyama.toyama.jp)